

平成29年度 太田商工会議所 経営発達支援事業の結果報告

事業評価委員会

日 時：平成30年3月16日（金）午前11時開催

出席者：板橋 信一委員（太田市産業環境部 部長）

間普 崇 委員（関東学園大学 経済学部准教授）

戸塚栄三郎委員（中小企業診断士）

橋本専務理事、湯沢事務局長、金谷相談所長、川内課長

内 容：資料に基づき支援事業の結果について事務局から説明し、別紙の通りの評点と評価コメントを頂いた。

この評価の結果を4月10日（火）開催の正副会頭会議にて説明し、委員から指摘を頂いた事項を改善するとともに、特に「新たな需要の開拓に寄与する事業」と「支援ノウハウ等を組織内で共有する体制」についてより注力することで承認を頂いた。

事業実施期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日 （5か年計画）
(平成30年2月末の実績で評価)

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関するここと

調査事業名	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
管内景況調査 (D I 調査)	○	4回	4回	4回
景況感聞き取り調査	○	12回	12回	12回
経済概況発行	○	1回	1回	1回
小規模企業景況調査	×	1回	0回	1回

2. 経営状況の分析に関するここと

支援内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
経営状況分析件数	△	96件	59件	96件
① 経営状況分析セミナー開催数	○	2回	2回	2回

① 経営状況分析セミナー開催

題名：「自社の“強み”必ず見つけ出します！」

日時：平成29年8月8日(火)午後2時半～午後4時半 19名

〃 8月9日(水) 〃 9名

計28名参加

講師：吉村守氏（中小企業診断士）

3. 事業計画策定支援のこと

支援内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
事業計画等策定支援数 (経営革新、事業承継含む)	△	56件	52件	56件
創業・第二創業計画策定 支援数	○	20件	32件	20件
① 事業計画セミナー数	○	2回	2回	2回
経営革新計画セミナ ー数	×	1回	0回	1回
② 事業承継セミナー数	○	1回	1回	1回
③ 創業スクール数	○	1回	1回	1回

① 事業計画セミナー開催

題名：「未来への確かな道筋をつけましょう」

日時：平成29年8月29日(火)午後2時半～午後4時半 13名

〃 8月30日(水) 〃 7名

計20名参加

講師：吉村守氏（中小企業診断士）

② 事業承継セミナーと個別相談会開催

題名：「後継者問題の実態と事業承継」

日時：平成29年12月6日(火)

セミナー 午後2時～午後3時 26名参加

個別相談会 午後3時～ 3名参加

講師：菊地則行氏（事業引継ぎ支援センター統括責任者）

③ 創業スクール開催

題名：「創業スクール 創業を学ぶなら太田で！」

日時：平成29年10月5日、12日、19日、26日

11月2日、9日、平成30年1月18日

木曜日開催、18：30～21：00 計7回（17時間30分）

*申込者：32名（実質受講人数30名）
講 師：石川知穂氏（中小企業診断士）、阿部隆昭氏（行政書士）
創業者：4名（人材派遣業1名、衣料品小売業1名、飲食業2名）

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

支援内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
事業計画等策定後の フォローアップ事業所数	△	56件	41件	56件
創業・第二創業者の フォローアップ事業所数	△	20件	11件	20件
フォローアップ 延べ事業所件数	△	76件	52件	152件

*フォローアップ延べ事業所数は、計算の便宜上、開始年度分と前年分の2年間で計上。

5. 需要動向調査に関すること

支援内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
① 経済産業省生産 動態統計調査	○	12回	12回	12回
② 商圏調査	○	12回	12回	12回
市民アンケート調査	×	1回	0回	1回
③ インターネット調査	○	12回	12回	12回
個社支援需要動向調査 支援数	×	6回	0回	10回

- ① 経済産業省生産動態統計調査：自動車部品製造動向を月ごとに集計
- ② 商圏調査：市内の人団動態を集計
- ③ インターネット調査：日経NEDS統計データから家計、住宅着工数、自動車販売など参考と思われる情報を収集保存。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

支援内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
① ビジネスプレス発表会発表数	○	9社	11社	12社
展示会・商談会出店数（上段）と成約数（下段）	×	4件	0件	8件
② ネット販売進出件数	○	2社	2件	8社

① ビジネスプレス発表会

第14回 平成29年4月27日（木） 3社

第15回 平成29年8月3日（木） 3社

第16回 平成29年12月7日（木） 5社

② ネット販売進出 2社

II. 地域経済の活性化に資する取組

取組内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
① 吞龍様祭り	○	1回	1回	1回
② 吞龍市	○	2回	2回	1回
③ まちゼミ	○	1回	1回	1回
④ 婚活事業	○	1回	1回	1回

● 吞龍様祭り

9月 3日（日） 大光院境内、呑龍公園を会場に開催 3, 300人来場

● 吞龍市

5月 21日（日） 大門通りを会場に開催 8, 500人来場

9月 3日（日） 門前通りを会場に呑龍様祭りと同時開催 3, 300人来場

● まちゼミ

10月 1日～10月 31日 市内参加店 64 店舗内で開催

92講座が催され、940名が受講

● 婚活事業

11月 11日（土） 男女150人ずつ計300名参加

お見合いパーティ形式で実施、38組のカップルが成立

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

取組内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
① 群馬県中小企業サポーターズミーティングの活用	○	1回	1回	1回
② 広域経済交流推進協議会指導員交流会議の活用	○	2回	2回	2回
③ 市内金融機関懇談会の活用	○	1回	1回	1回
④ 地域産学官連携ものづくり研究機構交流会議開催	△	2回	1回	2回

① 群馬県中小企業サポーターズミーティング

- ・9月11日 全体会議参加（日常的には、メールマガジンで情報収集）

② 広域経済交流推進協議会指導員交流会議の活用

- ・11月16日 視察研修会実施（茨城県内工場2カ所）
- ・2月 9日 視察研修会実施（邑楽町内工場1カ所）、事業情報交換会の開催

③ 市内金融機関懇談会の活用

- ・11月27日 懇談会開催

④ 地域産学官連携ものづくり研究機構との交流

- ・8月21日専門家会議参加
- ・機構主催の人材育成セミナーを当所会報でPR開始（10月号から）

2. 経営指導員等の資質向上等に関するここと

取組内容	自己評価	29年度目標	29年度実績	30年度目標
① 中小企業大学校研修	○	2回	2回	2回
② 県内経営指導員研修会	○	2回	2回	2回
③ 補助員研修及び一般職員研修	○	1回	1回	1回
④ 日商WEB研修	△	一	各自実施	各自実施
⑤ 民間WEB研修	△	一	各自実施	各自実施
⑥ 課題解決研修	○	1回	1回	1回
支援能力の組織財産化	×	一	未着手	一

① 中小企業大学校研修

「経営診断基礎（ものづくりコース）」 1/5～2/2 1名派遣

「経営革新計画の策定とフォローアップ支援」 11/28～12/1 1名派遣

② 県内経営指導員研修会

- ・「クラウド会計システムを利用した中小企業・小規模事業者の生産性向上支援」 8名派遣
- ・「中小・小規模事業者における情報セキュリティ対策の基礎知識と支援方法」 6名派遣

③ 県内補助員研修及び一般職員研修

- ・「ベンチャー・老舗企業の事例から見る事業展開の背景とその仕組み」 2名派遣
- ・「良好な関係を作るための表現のポイントとは」 2名派遣
- ・「中小企業者支援者の役割と連携の可能性」（両毛五市商工会議所主催） 3名派遣

④ 日商WEB研修

- ・e-ラーニング方式で中小企業経営全般を学習できるようになっている。中小企業に対する創業・経営革新に必要なビジネスおよび情報関連の知識を身に付けることを目的としている。全職員受講。

⑤ 民間WEB研修

- ・(株)イー・ブレーンが運営する経営に関する研修で490タイトルが運営されている。弊所職員及び小規模事業者（会員・非会員）が事業所や自宅で受講できるよう無料で公開している。経営指導員が事業計画作成支援の時に受講を勧奨する。

⑥ 課題解決研修会

- ・小規模事業者経営改善資金制度（通称：マル経資金）と推薦手続きの再確認
7月12日（水） 日本政策金融公庫融資第二課長講師で実施 経営指導員 8名

平成29年度 太田商工会議所 経営発達支援計画 評価結果 平成30年3月16日実施

分類	項目	板橋委員	間普委員	戸塚委員	平均	委員からのコメント
経営発達支援事業の内容	1.地域の経済動向調査に関すること	4	5	4	4.3	・小規模企業の景況把握は重要であるので何らかの手段で調査していただきたい。(板橋委員) ・各調査のニーズを適切に判断して、ニーズの高い調査により注力していただきたい。(間普委員) ・状況の変化もあるが計画として提出しているので、調査方法等を早めに変更して新たに実施した方が良いと思う。(戸塚委員)
	2.経営状況の分析に関すること	4	5	5	4.7	・目標を達成するように努めていただきたい。(板橋委員) ・良く出来ていると思います。(戸塚委員)
	3.事業計画策定支援に関すること	4	5	4	4.3	・セミナーを開くことを通じて、実際に創業を支援していると評価できる。(間普委員) ・経済産業省が行っている経営改善支援センター事業の中に、早期経営改善計画策定支援事業があります。活用してください。(戸塚委員)
	4.事業計画策定後の実施支援に関すること	4	4	4	4.0	・創業者に対するきめ細かいフォローアップに努めていただきたい。(板橋委員) ・忙しいと思いますが、なるべく多くの企業を訪問していただきたいと思います。(戸塚委員)
	5.需要動向調査に関すること	4	4	4	4.0	・計画にあるものでニーズがないから実行出来ないでなく、何らかの結果は示した方が良いと思います。(戸塚委員)
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	4	4	3	3.7	・展示会等は対象企業の意向もあるので、出展するのは厳しい面もありますが、早めの声掛けで実現させて下さい。(戸塚委員)
地域活性化	7.地域経済の活性化に資する取組	5	5	5	5.0	・今後も継続していただきたい。(板橋委員) ・取組の内容と共に、高い成果をあげていると考えられる。(間普委員) ・計画通り良好出来ていると思います。(戸塚委員)
支援力向上	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	4	5	5	4.7	・ものづくり研究機構との連携を一層密にしていただきたい。(板橋委員) ・計画通り良好出来ていると思います。(戸塚委員)
	9.経営指導員等の支援力の向上の仕組み	4	5	4	4.3	・WEB研修の参加は自己評価は△でなく○で良いと思います。(戸塚委員)
	10.支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	4	4	1	3.0	・各種研修でスキルアップをしてください。(板橋委員) ・ノウハウを組織内で共有する仕組みについて、議論を深めていくことを期待する(間普委員) ・内容の問題、時間の問題もありますが、早めに着手したほうが進めやすいと思います。(戸塚委員)

平均 4.1 4.6 3.9 4.2

総合コメント

板橋委員	概ね達成されていると評価する。創業者には今後一層のサポート体制をお願いするとともに、指導員の支援力のレベルアップをお願いする。
間普委員	計画した活動について、着実に実施・実行していると評価できる。また、調査データの活用、創業の数、地域活性化の取組の動員数など、支援活動の成果は高いと評価する。
戸塚委員	全体的に多くの実績が出ていて良いと思います。30年度は未着手のところから早めに着手して、実績を挙げて欲しいと思います。期待しております。頑張ってください。